

～盛岡手づくり村の魅力を再発見～

平成27年度地域政策研究センター（地域提案型・後期）採択課題

課題名：盛岡手づくり村の地場産業振興機能強化について

研究代表者：総合政策学部・山本健

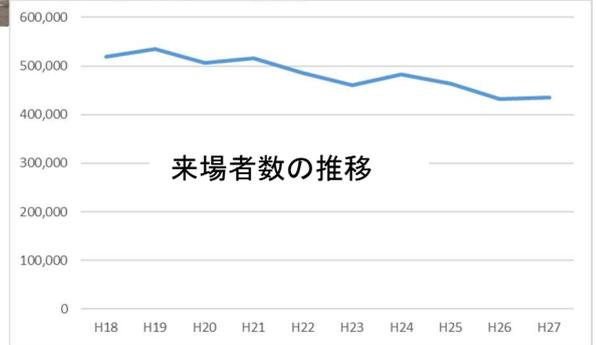
課題提案者：盛岡市商工観光部商工課

研究メンバー：後藤敏弘、北田雅浩、吉田金一、熊谷朋宏（盛岡市商工観光部商工課）

技術キーワード：地場産業振興、伝統工芸品、産業集積、体験工房

▼研究の概要（背景・目標）

盛岡手づくり村の開設から約30年が経過し、開設当時とは経済情勢等も変化し、施設の老朽化も重なり、来場者数が減少傾向にある。その中で、地場産業の活性化を盛岡手づくり村が担っていくには、どのような方策が必要かを明らかにする。



▼研究の内容（方法・経過）

1. 調査対象：盛岡手づくり村、八戸ユートリー、燕三条地場産センター、長良川オンパク事務局
2. 調査内容：実地調査・聞き取り調査に基づく事例研究、経営成績・財務状態に関する定量調査
3. 調査期間：平成27年11月～28年10月

地場産業振興機能強化のために

- ・盛岡広域圏ブランドの発掘と魅力向上。情報発信
- ・需要開拓機能（展示即売、体験学習、施設利用収入）強化
- ・受注促進や販路開拓支援、海外販路の開拓支援
- ・産学連携、技術開発支援、ビジネスマッチング
- ・企業人材育成（技術研修や経営力強化支援）

▼研究の成果（結論・考察）

1. 郊外に立地し、集客イベント開催や団体客に強み。つなぎ温泉、小岩井農場、田沢湖への玄関口という好立地。
2. 8市町が参画しており、広域での事業展開に期待。
3. 来場者40万人で購買客数8万人。客単価アップも課題（直近で2,400円）。

| | 盛岡 | 八戸 | 燕三条 |
|--------|-------|--------|--------|
| 経常収益 | 1.7億円 | 3.7億円 | 10.7億円 |
| 補助金の割合 | 26.6% | 6.0% | 40.8% |
| 立地上の特徴 | 郊外 | 駅に併設 | 駅前・道の駅 |
| 来場者の特徴 | 観光客 | ビジネスマン | 企業・団体 |

▼おわりに（まとめ・今後の展開）

1. 8市町からなる圏域製品の販売強化・マーチャンダイズ戦略の見直し（工芸品中心から農畜産物・食産業クラスターへの拡張）。売上増（購買客数・客単価アップ）を通じた地場産業振興。収益力アップによる経営健全化とスピーディかつ柔軟な意思決定。
2. インバウンド誘客の促進。工房や展示即売室で製造販売される工芸品を利用した茶道・華道体験など、手づくり村の資源を活かした外国人向け体験交流型商品の組成。地元住民ガイド等への施設開放によるサービスの向上、雇用や事業機会の創出を通じた施設利用の活性化。
3. つなぎ温泉や御所湖へのゲートウェイとしての立地、165台収容可能な広大な駐車場があることから道の駅への認定を申請する。施設と一体化した駐車場へのレイアウト変更、国道からの分かりやすい案内標識の設置などから、より一層の集客力を狙う。